

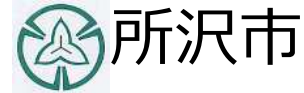
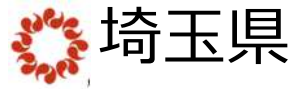
都市計画変更素案説明会

県道所沢堀兼狭山線・県道練馬所沢線

((都)東京狭山線)と

国道463号 ((都)宮本柳瀬線)の

松郷交差点立体化について



令和5年2月18日 (土) 10時～

**県道所沢堀兼狭山線,練馬所沢線（(都)東京狭山線）と
国道463号（(都)宮本柳瀬線）の
松郷交差点立体化について、**

- **立体化の必要性や整備効果、道路計画の考え方**
- **都市計画の素案**

地域の皆様へ説明させていただき、ご意見を伺うものです。

（都市計画法第16条に基づく説明会）

- ① 県道所沢堀兼狭山線、
県道練馬所沢線及び
国道463号について
- ② 松郷交差点立体化の必要性
- ③ 立体化の計画概要
- ④ 都市計画変更素案の内容
- ⑤ 今後の進め方

**① 県道所沢堀兼狭山線・
県道練馬所沢線及び
国道463号について**

県道所沢堀兼狭山線・県道練馬所沢線及び国道463号について

国道463号

- ・ 埼玉県越谷市からさいたま市浦和区、所沢市を經由し入間市まで結ぶ主要幹線道路。
- ・ 埼玉県南部を東西に結ぶ地域の人やモノの移動を支える大動脈

松郷交差点



国土地理院図を基に作成

県道所沢堀兼狭山線・県道練馬所沢線

東京都練馬区から所沢市、狭山市を經由し圏央道狭山日高ICまで結ぶ埼玉県西部の骨格をなす主要幹線道路。

松郷交差点立体化効果

- ・ 交通の円滑化
- ・ 混雑緩和

計画道路（素案）の位置

県道所沢堀兼狭山線・県道練馬所沢線 松郷交差点区間（素案）
延長約0.52 k m 幅員25m（4車線）から37～39m（4車線）へ変更



②立体化の必要性

(交通の円滑化、混雑緩和)



松郷交差点の混雑状況

計画交通量



- ①約2.7万台/日
- ②約2.1万台/日
- ③約2.5万台/日
- ④約3.1万台/日

4車線同士の交差点で県南西部の交通の要衝となっており、東西南北の通過交通が多く交通が集中する。また、④⇒①の右折車線は2車線あり、交通量が特に多いため、交通を円滑化するために立体化が必要である。



①：平日昼間の状況

最大滞留長

① **260m**

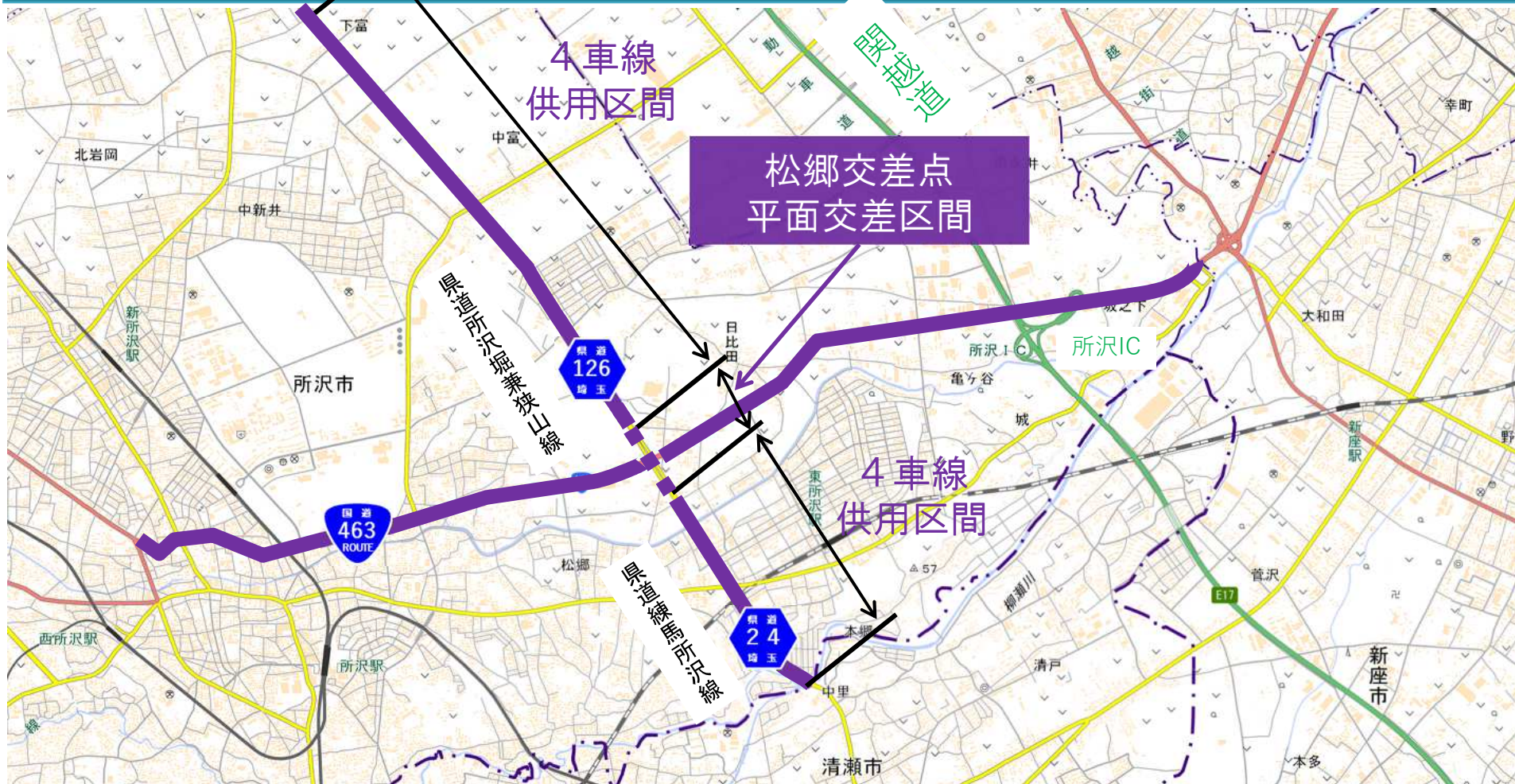
② **200m**

③ **150m**

④ **230m**

慢性的に滞留が発生しており、特に朝の時間帯、昼の時間帯において顕著に表れている。立体化することで信号でさばける交通量が増加するため、渋滞が緩和される。

(参考) 県道所沢堀兼狭山線・県道練馬所沢線 9 整備状況



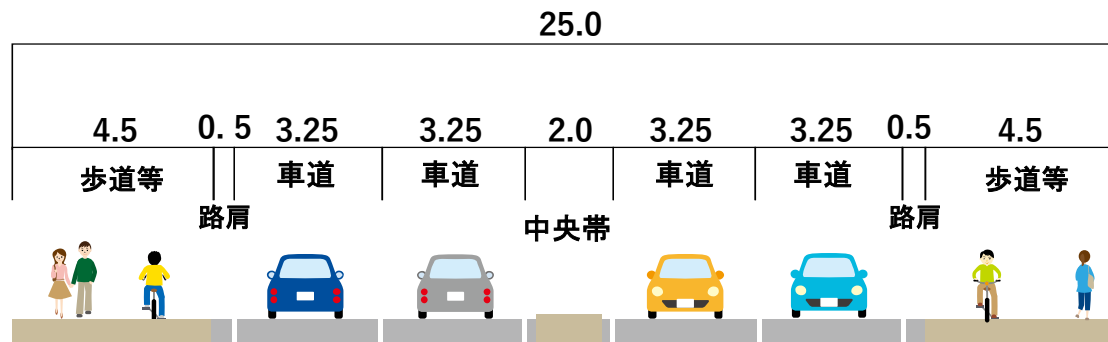
国土地理院図を基に作成

交通の円滑化及び混雑緩和を図るためには
松郷交差点の立体化が必要

③松郷交差点立体化の 計画概要

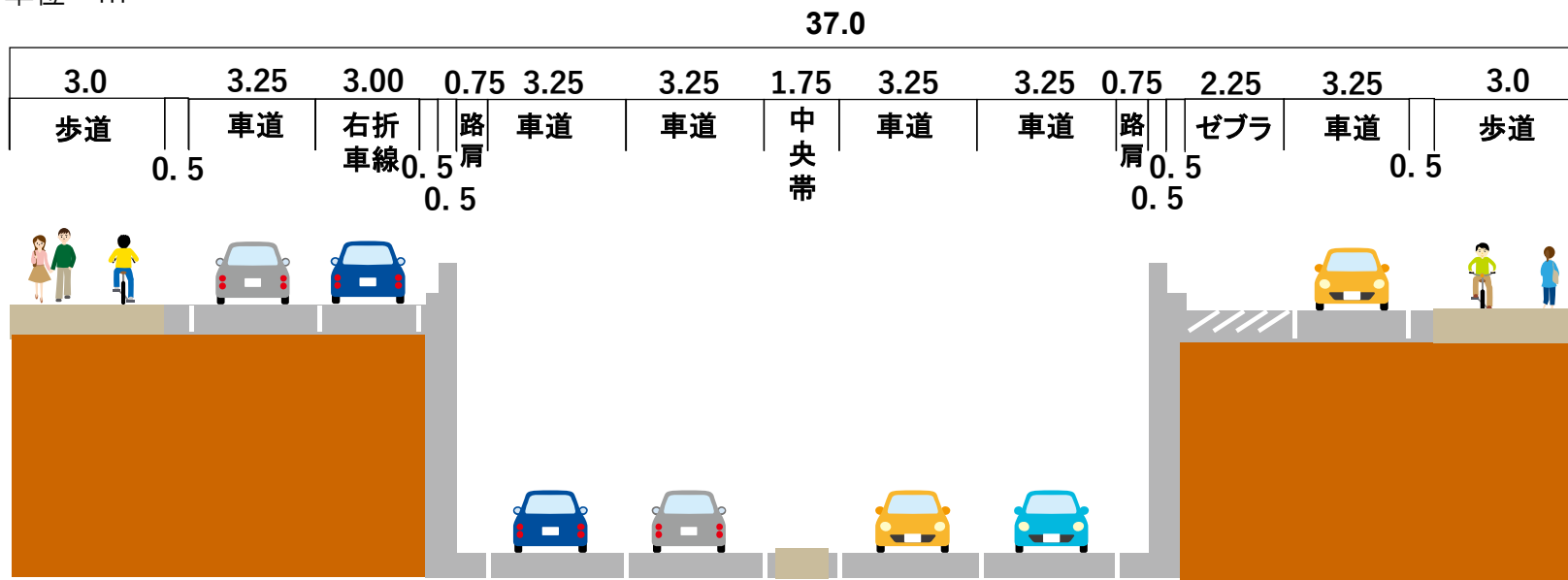
標準横断図 (3・3・2号東京狭山線)

○現在の都市計画
単位：m



○変更案
単位：m

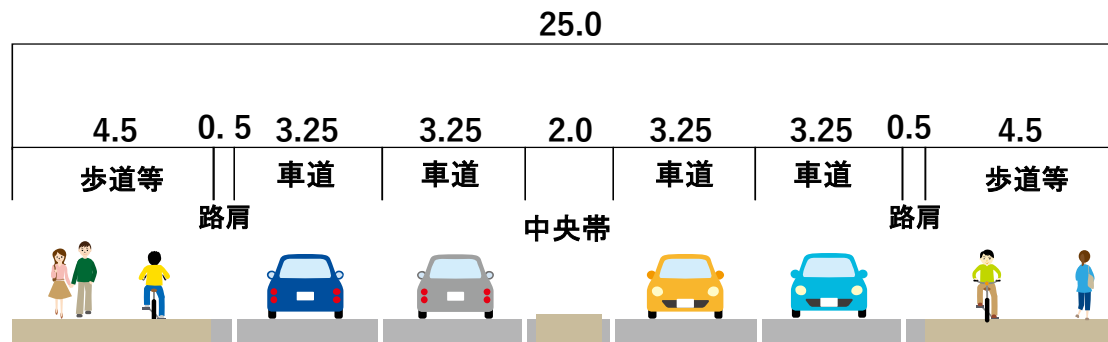
交差点部 (現：県道練馬所沢線)



※整備イメージであり、詳細は今後検討していきます。

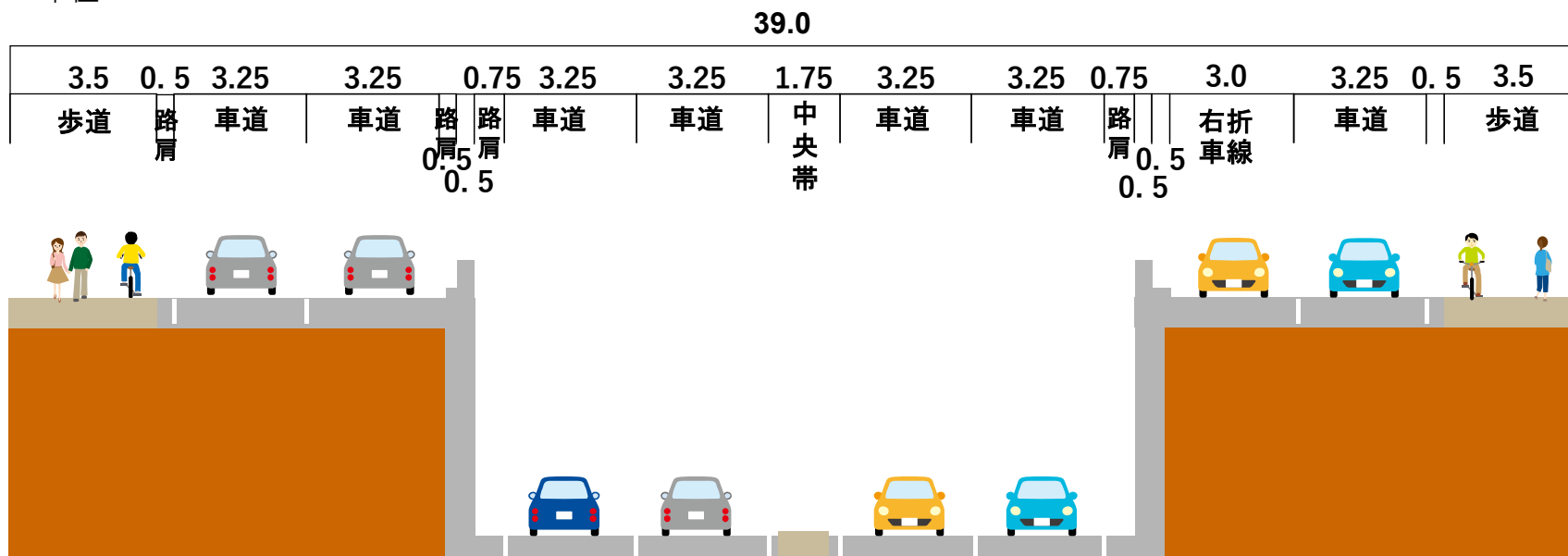
標準横断図 (3・3・2号東京狭山線)

○現在の都市計画
単位：m



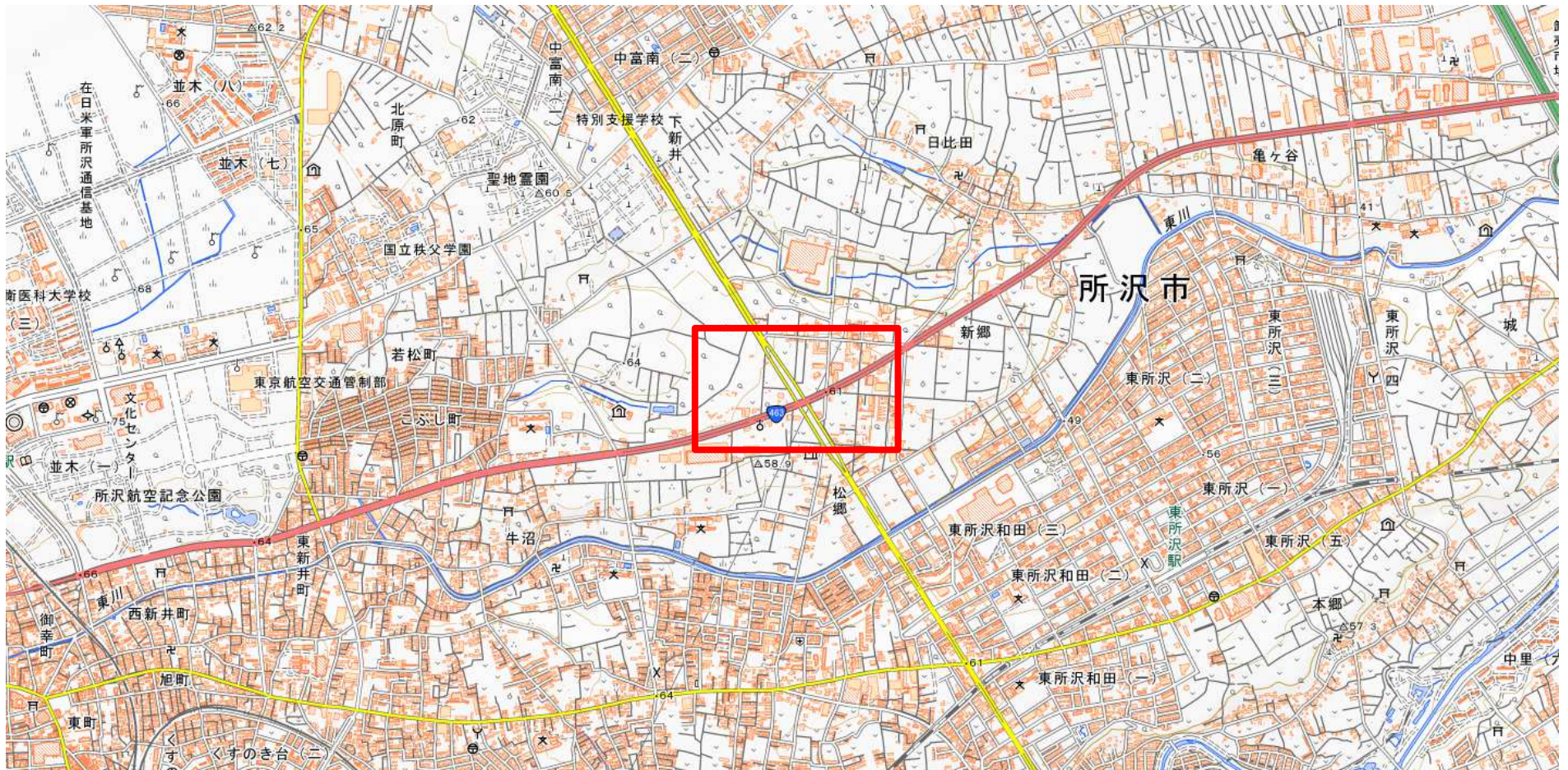
○変更案
単位：m

交差点部 (現：県道所沢堀兼狭山線)

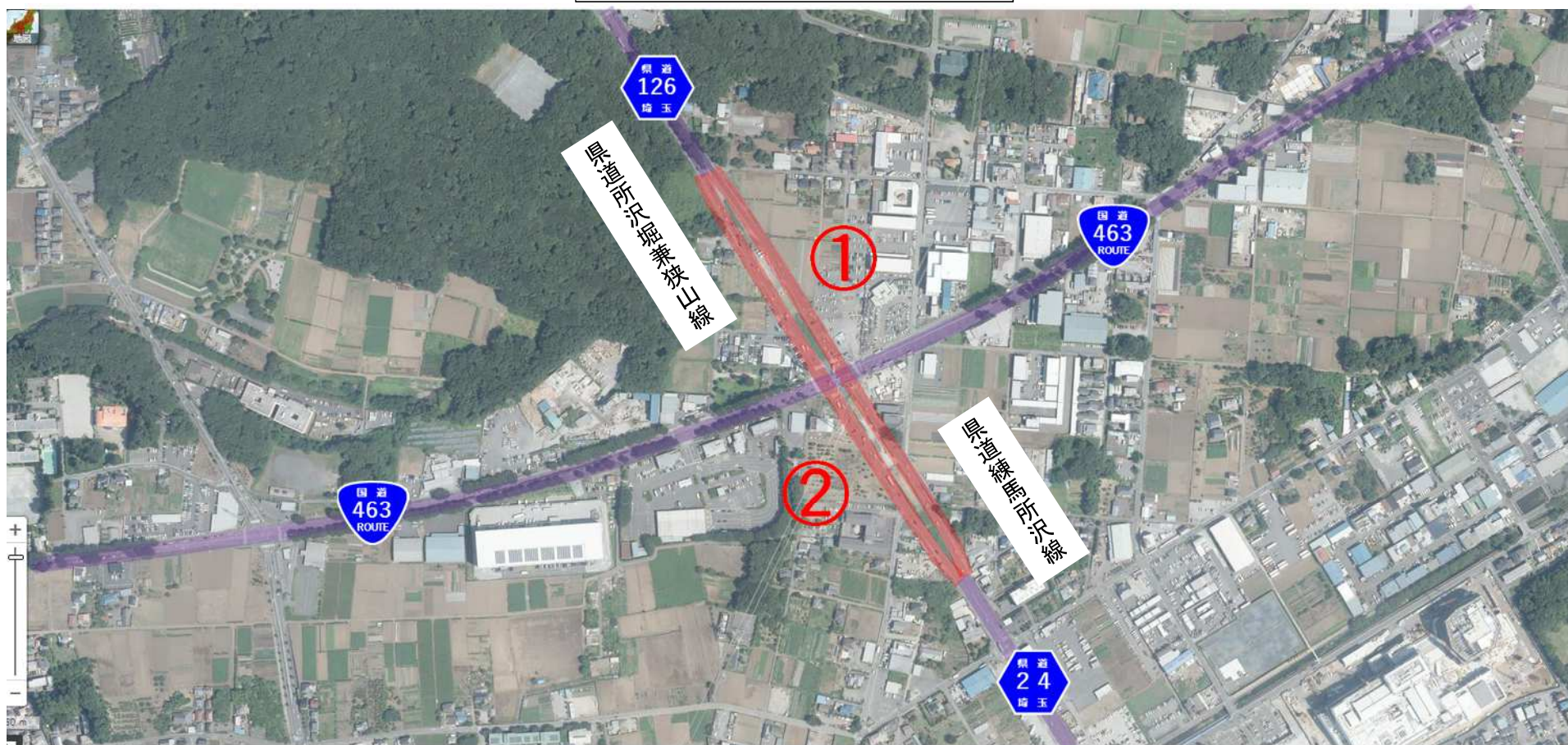


※整備イメージであり、詳細は今後検討していきます。

松郷交差点付近



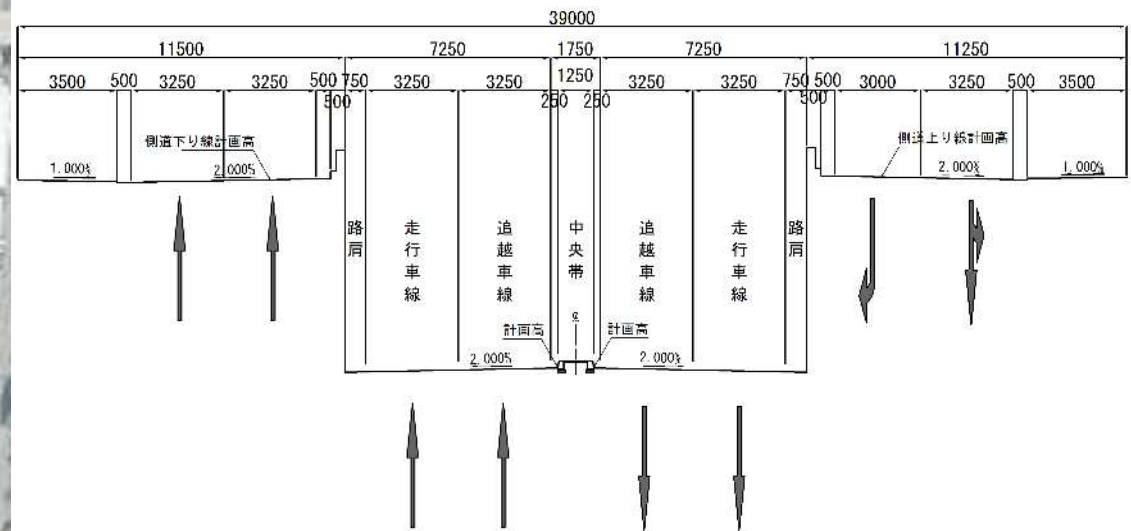
松郷交差点付近



国土地理院図を基に作成

横断図

<現：県道所沢堀兼狭山線>

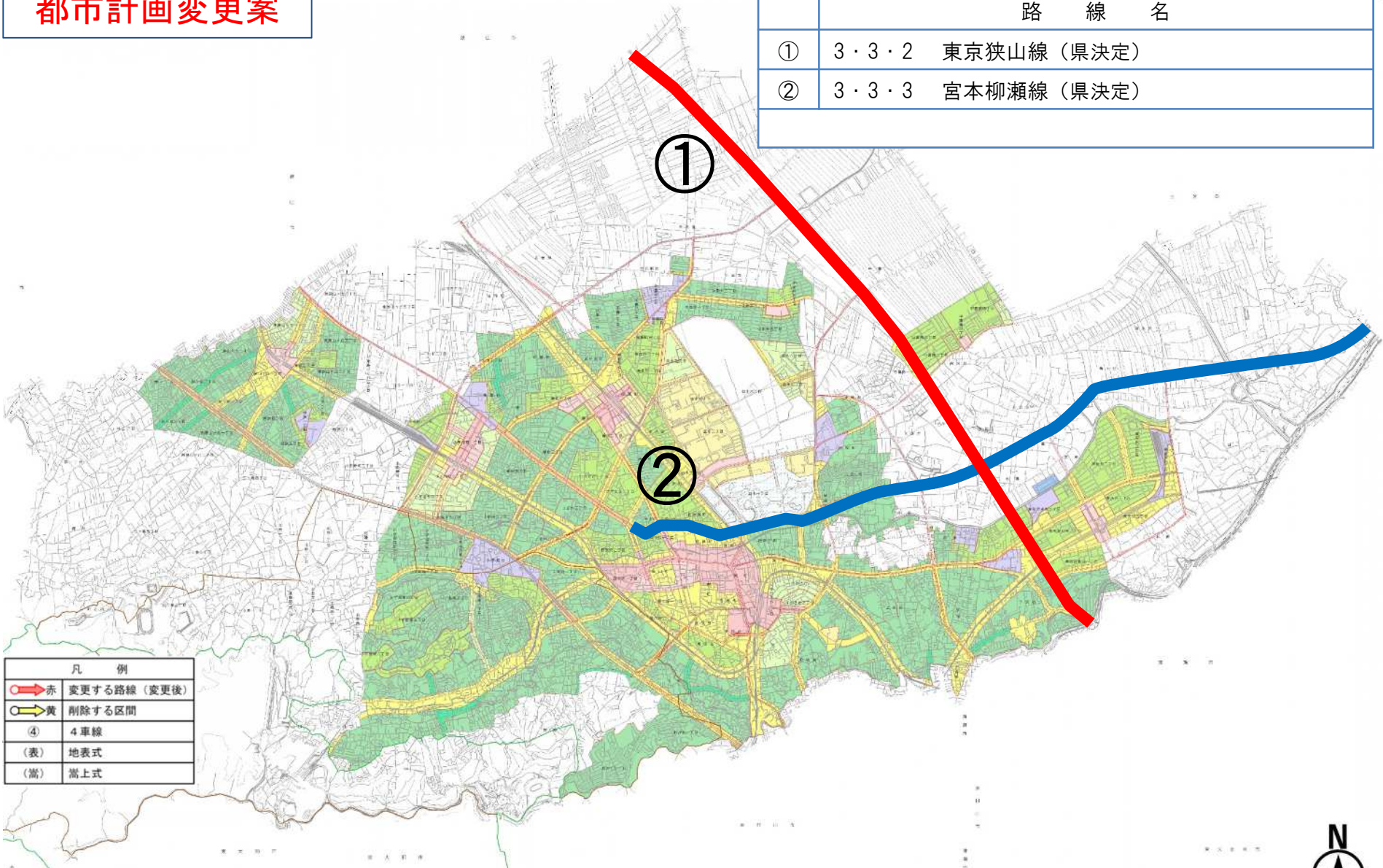


平面交差⇒立体交差

④都市計画変更素案の内容

都市計画変更案

	路線名	
①	3・3・2	東京狭山線（県決定）
②	3・3・3	宮本柳瀬線（県決定）

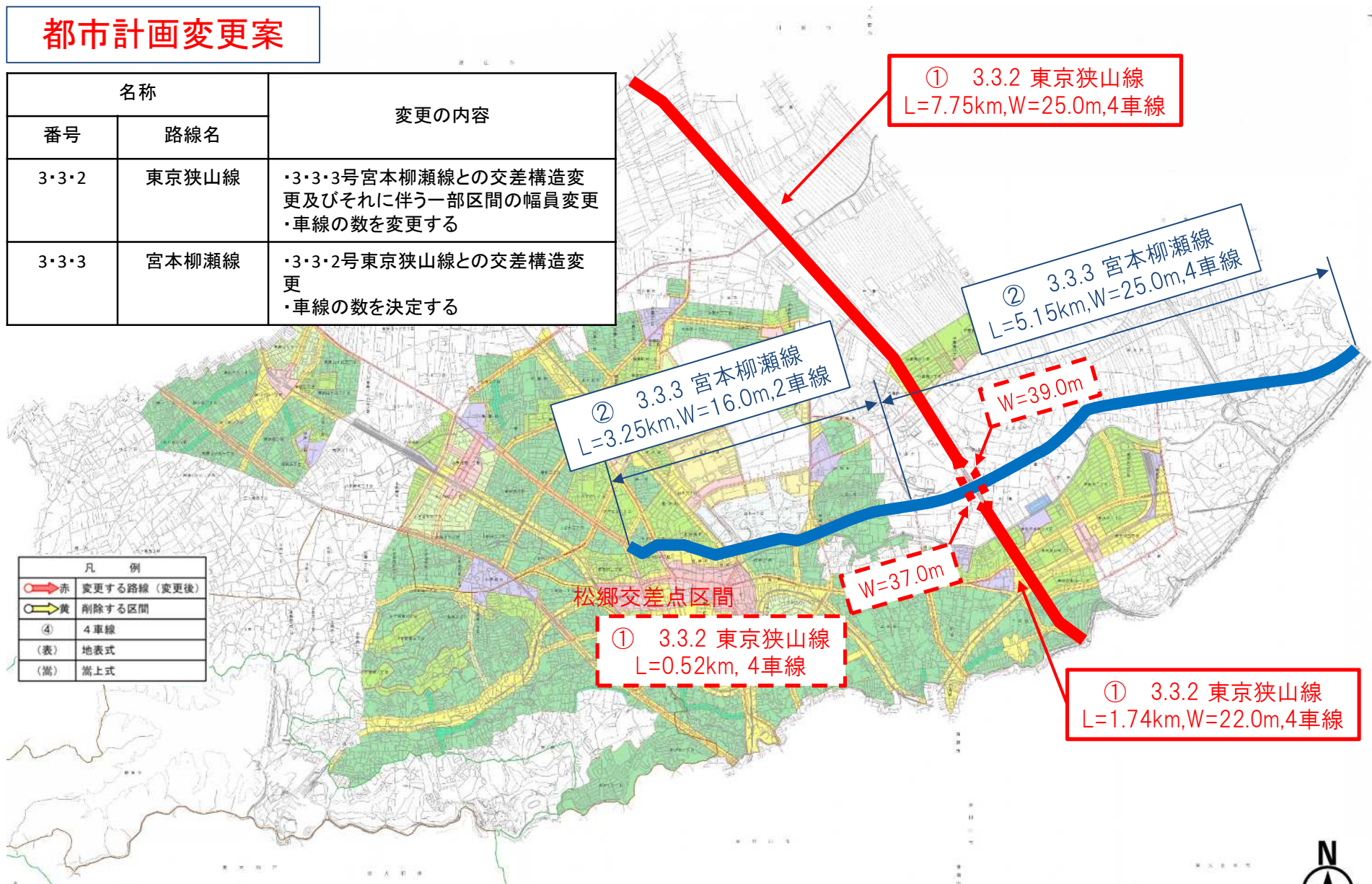


凡 例	
	赤 変更する路線（変更後）
	黄 削除する区間
④	4車線
(表)	地表式
(高)	嵩上式



都市計画変更案

名称		変更の内容
番号	路線名	
3・3・2	東京狭山線	<ul style="list-style-type: none"> ・3・3・3号宮本柳瀬線との交差構造変更及びそれに伴う一部区間の幅員変更 ・車線の数を変更する
3・3・3	宮本柳瀬線	<ul style="list-style-type: none"> ・3・3・2号東京狭山線との交差構造変更 ・車線の数を決定する



凡 例	
	赤 変更する路線 (変更後)
	黄 削除する区間
④	4車線
(表)	地表式
(嵩)	嵩上式

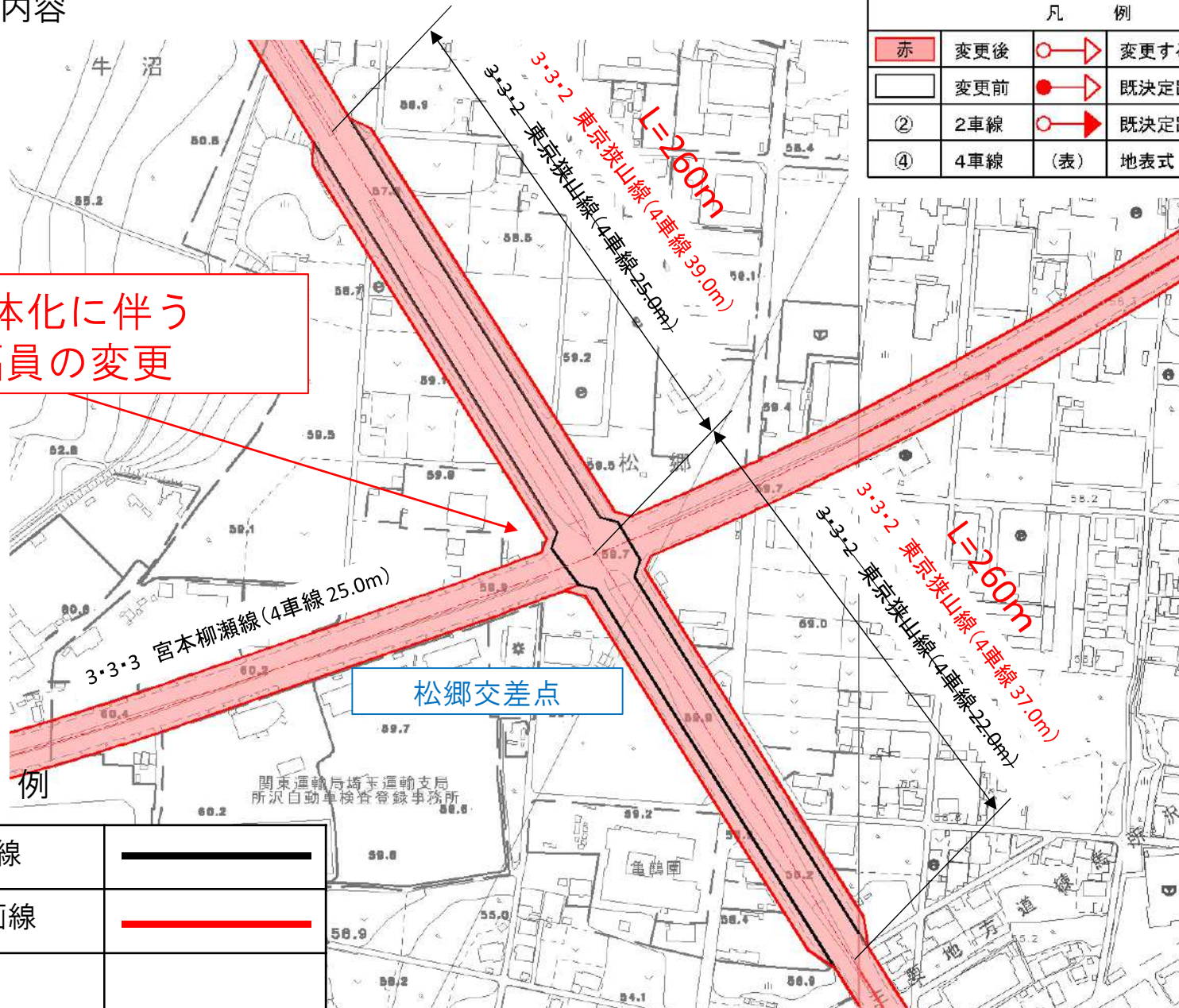


3・3・2 東京狭山線

主な変更内容

凡 例			
赤	変更後	○→▷	変更する路線の起終点
	変更前	●→▷	既決定路線の起点
②	2車線	○→▷	既決定路線の終点
④	4車線	(表)	地表式

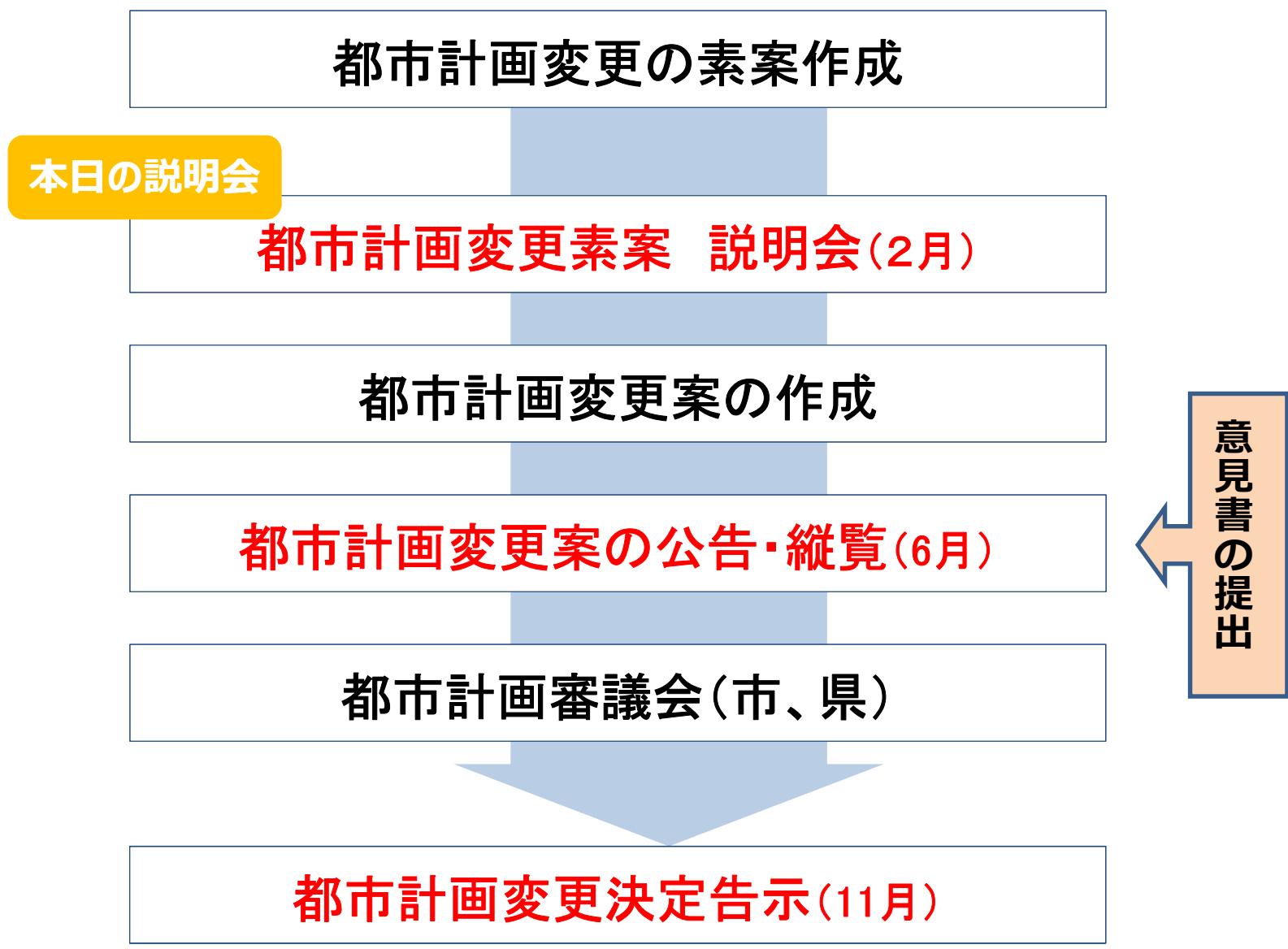
立体化に伴う
幅員の変更



凡 例

現計画線	—
変更計画線	—

⑤ 今後の進め方



●都市計画道路の変更（交差点立体化）に関すること

埼玉県 川越県土整備事務所

〒350-1126 川越市旭町2丁目13-6

電話 049-243-2035

●その他まちづくりに関すること

所沢市 街づくり計画部 都市計画課

〒359-8501 所沢市並木1丁目1-1

電話 04-2998-9192